

広島城を新たな観光拠点として再構築する取組

1 概要

浅野氏広島城入城 400 年記念事業を契機とした、被爆以前の広島歴史・文化への関心の高まりを更に向上させるため、観光スポットとなっている広島城の一層の魅力向上を図り、新たな観光拠点として再構築することで、観光都市としての回遊性の向上を図る。

2 現状と課題

(1) 天守閣

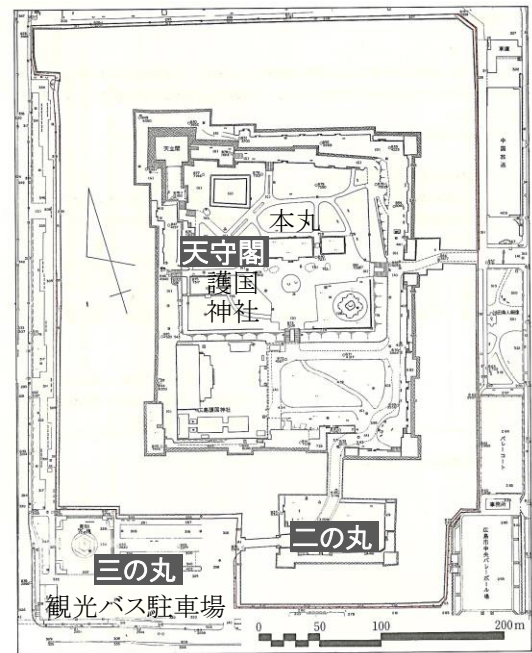
既存の展示内容について魅力向上を図る必要があり、また、再建後 60 年以上経過する中、天守閣の耐震改修又は木造再建を行う場合には、展示・収蔵面積が減少するため、代替施設の設置など、展示機能の充実に向けた検討を行う必要がある。

(2) 二の丸

復元された二の丸が有する建物の魅力の発信や、天守閣及び三の丸との一体的な利用など、十分な活用がなされていない。

(3) 三の丸

サッカースタジアムとの連携が期待できる貴重な空間であり、広島城に不足している便益施設（飲食・物販施設等）の整備候補地と考えられるが、現状は観光バスの駐車場等として利用されており、これらの移転等を含めた検討を行う必要がある。



3 今年度の取組内容

以下の(1)～(3)等の実施により、天守閣・二の丸・三の丸の各ゾーンの活用について具体化を図るための基本構想を策定する。

(1) 有識者による懇談会の設置

歴史・経済観光・文化の分野に造詣が深い方々で構成する懇談会を開催し、基本的な方向性と具体的な活用方法を検討

(2) 天守閣の耐震診断及び基礎調査

(3) 観光拠点化調査

市民や観光客のニーズ調査、事業者へのヒアリングを実施